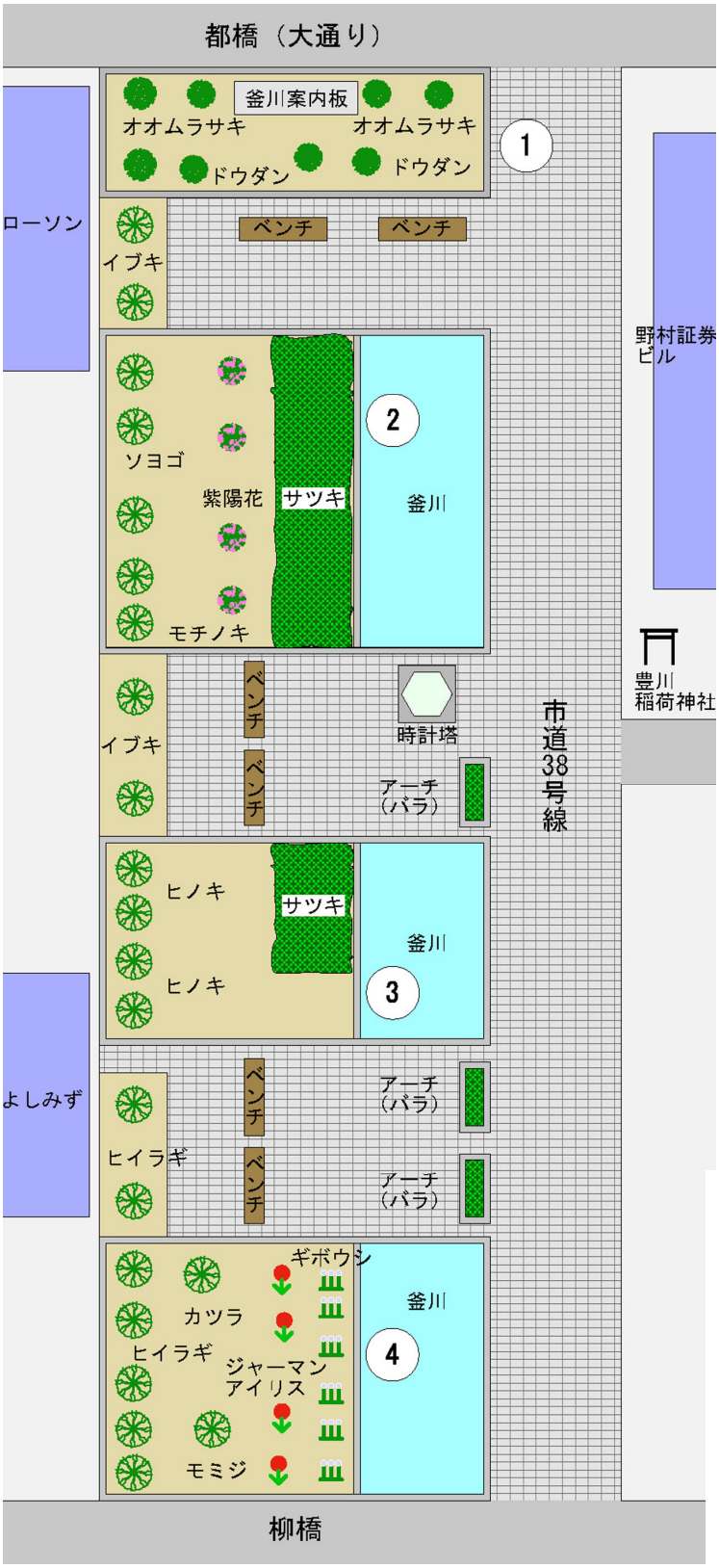
６．各ゾーンの植栽イメージ

第１ゾーン（その１）【都橋～柳橋】現況



・釜川プロムナードの入口は，多くの通行人が行き交う大通りの都橋である。釜川は，ビルの間を縫って，南北に流れている。
・都橋のすぐ南には，高木のソヨゴの下に，紫陽花が連続して植えられている。
・平成 22 年，柳橋の北側部分を整備し，ギボウシ，ジャーマンアイリスを植えた。

第１ゾーン（その１）植栽イメージ

①　都橋の欄干植栽部分

・大通りから釜川プロムナードへの入口部分となる。
　ドウダン等の植栽部分に釜川の案内板が設置してある。
・釜川プロムナードへの導入部として，また，大通りからの景観として，
　四季の草花などによる彩りの演出を図る。

ビフォー

アフター

イメージ

②　都橋の南側部分

・低木は，日陰に強い紫陽花を主とした植栽景観とする。
　サツキの一部を紫陽花に植え替え，紫陽花が連続して眺められる散策路とする。
・紫陽花は，ガクアジサイやヤマアジサイ，西洋紫陽花など，明るい華やかな色のものを植える。

ガクアジサイ　5～7 月

ヤマアジサイ　6～7 月

タマアジサイ　7～8 月

ビフォー

アフター

イメージ

③　都橋と柳橋の中間地点

・ヒノキ（高木）の下に，ドクダミなどが生い茂っており，暗い印象の区間である。
　サツキも北側に一部だけ植わっており，裸地に近い状態である。
・連続性を持たせるため紫陽花を植えるとともに，ヤマブキソウやシャガなどの明るい花を配置する。

ヤマブキソウ 4～5 月
宿根草　丘陵や山林に自生する。

シャガ 5 月

ヒメシャガ 5 月
球根植物　半日陰の乾いた土を好む。

ビフォー

アフター

④　柳橋の北側部分

・日陰に向いたギボウシを一面に群植する。
・明るい彩りを添えるために，ジャーマンアイリスやシャガなどを配置する。
・ヒイラギやモミジ，カツラなど育ち過ぎの木があるので，剪定や間引きを進める。

ギボウシ類　　６～７月
宿根草　日陰の乾燥地にも対応する。

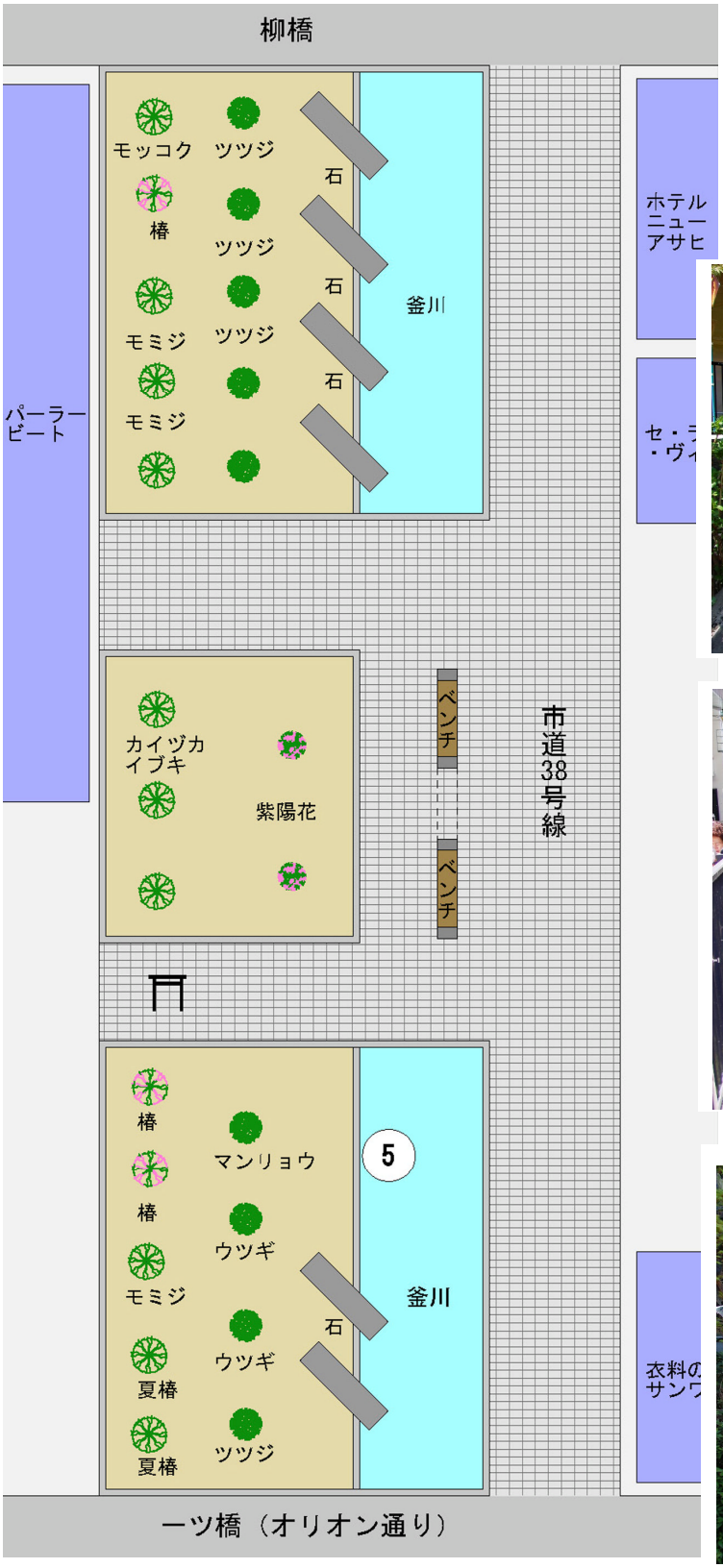
ヒメシャガ　５月
球根植物　半日陰の乾いた土を好む。

ジャーマンアイリス
5～6 月
球根植物　日向の乾燥気味な土を好む。

ビフォー

アフター

第１ゾーン（その２）【柳橋～一ツ橋】現況



・モミジの大木やカイズカイブキ，椿の高木が連なり，釜川に沿って，大きな岩が屏風のようにそびえている。
和風庭園風の趣に造ってある。

⑤　一ツ橋の北側部分

第１ゾーン（その２）植栽イメージ

⑤　一ツ橋の北側部分

・オリオン通りのアーケードの陰になっており，ほとんど日照が望めない区域である。
・低木が疎らで裸地になっている部分（一ツ橋から眺められる部分）に，ヤマブキソウやシャガ，ヒメシャガ等の明るい草花の植栽を進める。

ヤマブキソウ（宿根草）　4～5 月
丘陵や山林に自生する。

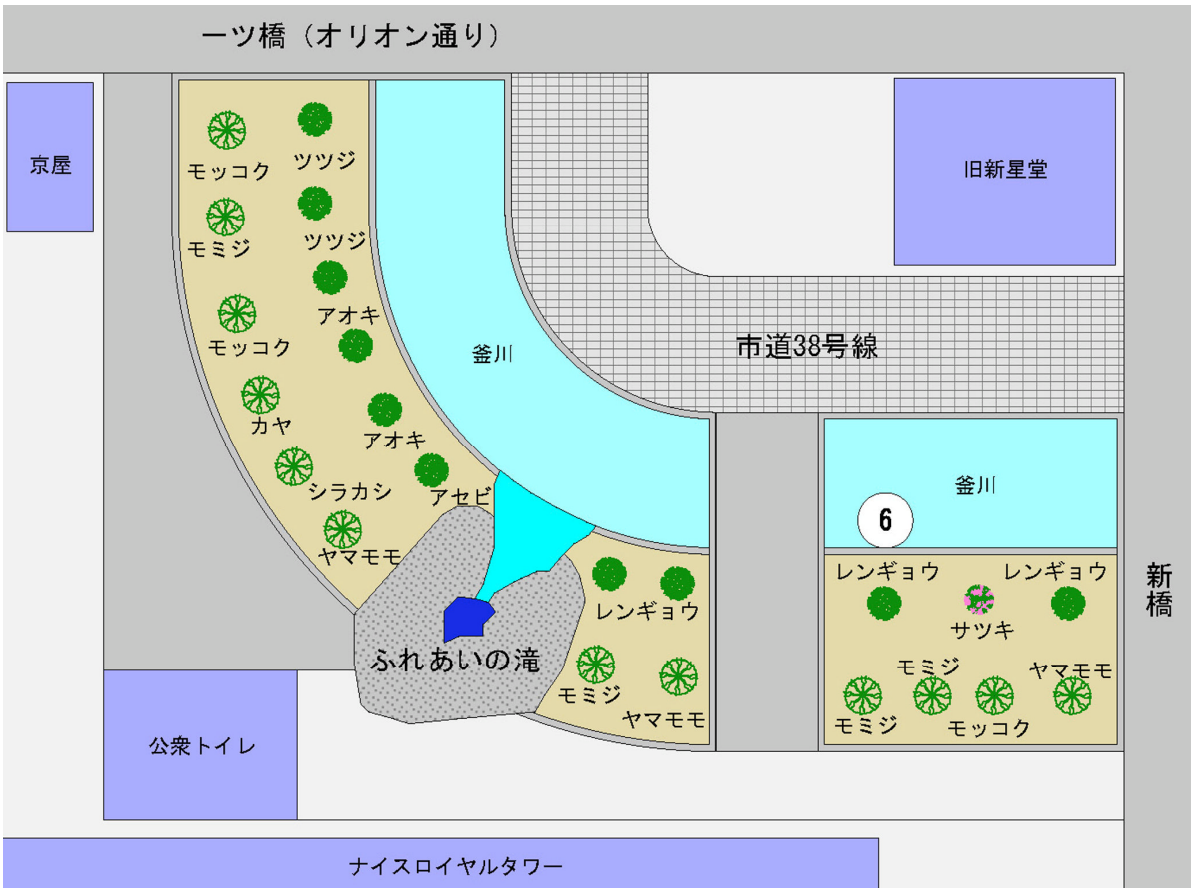
シャガ　5 月
（球根植物）

ヒメシャガ　5 月
半日陰の乾いた土を好む。

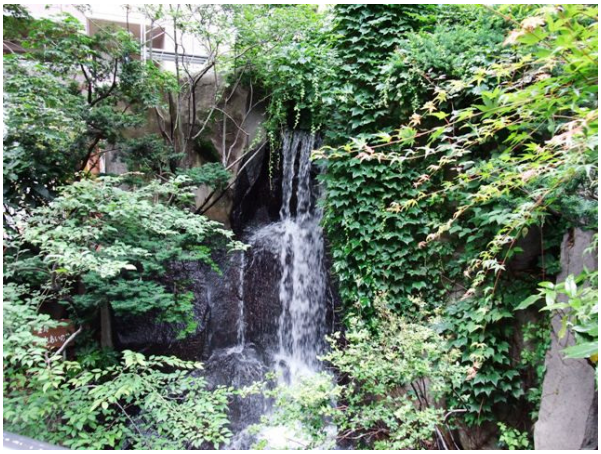
ビフォー

アフター

第 2 ゾーン　【一ツ橋～新橋】現況



・区間の真ん中にふれあいの滝があり，豪快な水しぶきをあげている。
　日本庭園をイメージする景観である。
・滝の周りを，モミジやモッコク，ヤマモモなどの大木が覆っている。
　また，周囲にビルや高層マンションがあることから，昼前後は日が当たるが，
　それ以外は日陰になる。



ふれあいの滝

⑥　新橋の西側部分

第２ゾーン　植栽イメージ

⑥　滝の東側（新橋の西側）部分

・この区間は，日が当たらず一年を通して暗いイメージがあるため，明るいイメージを演出する。
・新橋の西側部分は，低木がまばらに植わっており，裸地になっている部分もあるため，明るい斑入りの葉物や半日陰に強い草花などの植栽を進める。
　　・提案植物；フイリギボウシ類，マンリョウ，ヒオウギスイセン

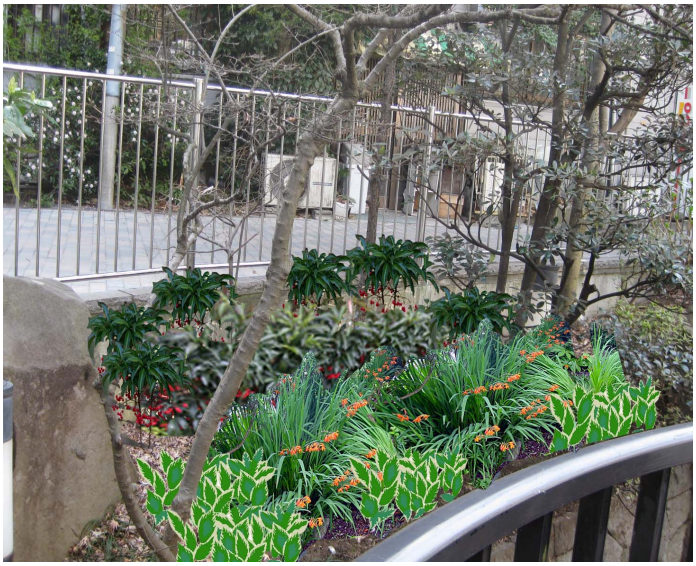
フイリギボウシ類（宿根草）
6～7 月　日陰の乾燥地にも対応

マンリョウ 11～2 月
（常緑潅木）半日陰を好む。

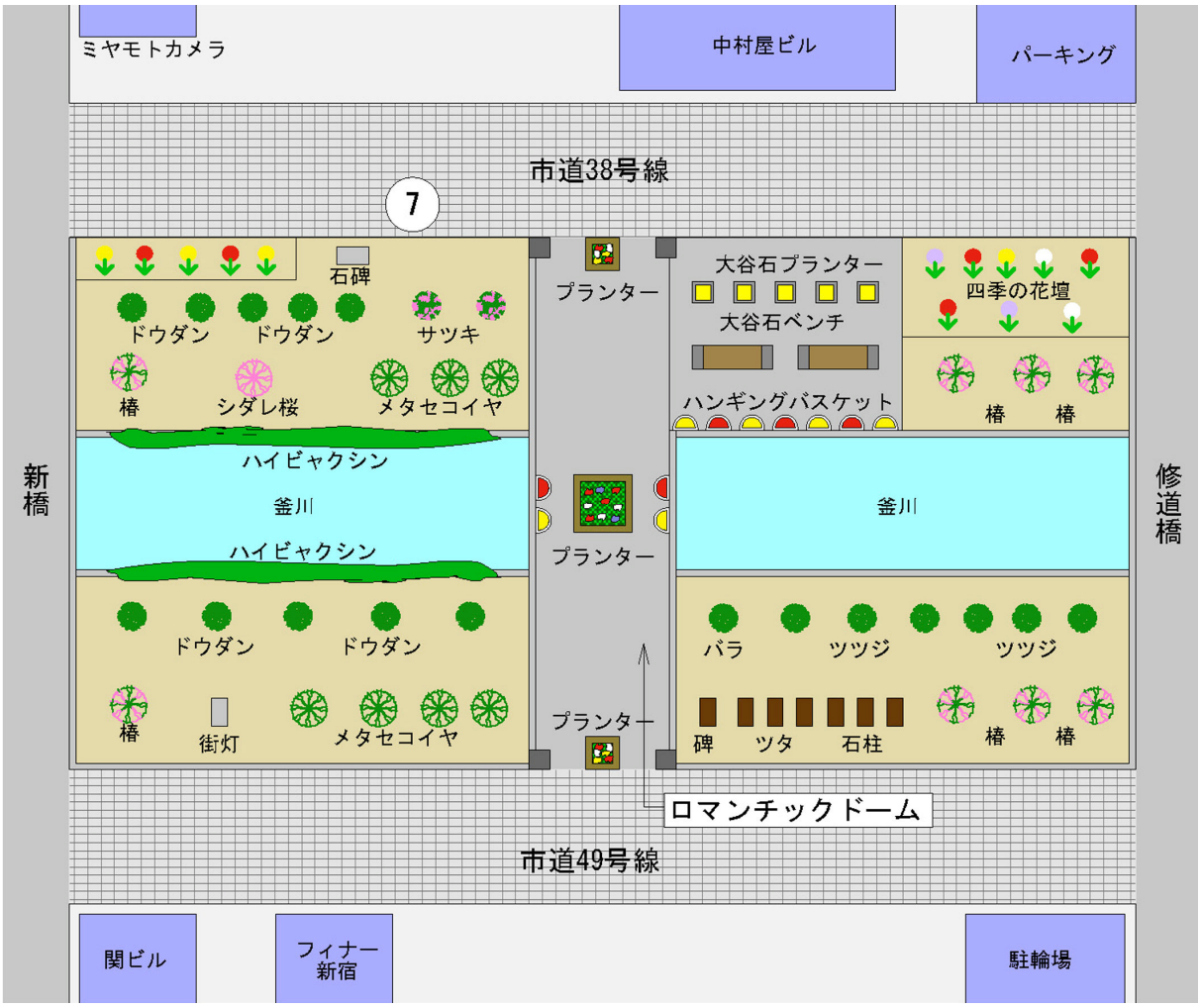
ヒオウギスイセン　7～8 月
土質を選ばず半日陰でも
よく育つ。

ビフォー

アフター



第３ゾーン（その１）【新橋～修道橋】現況



・この区間は，オリオン通りのすぐ南側に位置し，日当たりも良い。
中心部の通行路として，また，貴重な水辺の散策路として，釜川プロムナードの中心となる区間である。
・地元やまちづくり団体の協力を得て，四季の花植えを定期的に行っている。
大小のプランターとハンギングバスケットを設置するとともに，歩道に沿って花壇も整備してある。また，釜川沿いに３基，ロマンチックドーム内に２基，大谷石のベンチを設置してある。

⑦　新橋の東側部分

修道橋の西側部分

ロマンチックドーム

第３ゾーン（その１）植栽イメージ

・中心部における憩いの水辺空間として，大谷石のベンチで休憩しながら，釜川を眺め，花壇やプランターの四季折々の花が楽しめる場所とする。
・ロマンチックドームは，現在の大小のプランターと四隅にある石柱を活かして，それぞれの季節の良さが感じられる植栽空間とする。
・高木となるメタセコイアや修道橋付近の椿などのも間引きを進める。
また，川面に垂れ下がっているハイビャクシンも整理し，川面が眺められるようにする。

⑦　新橋の東側部分

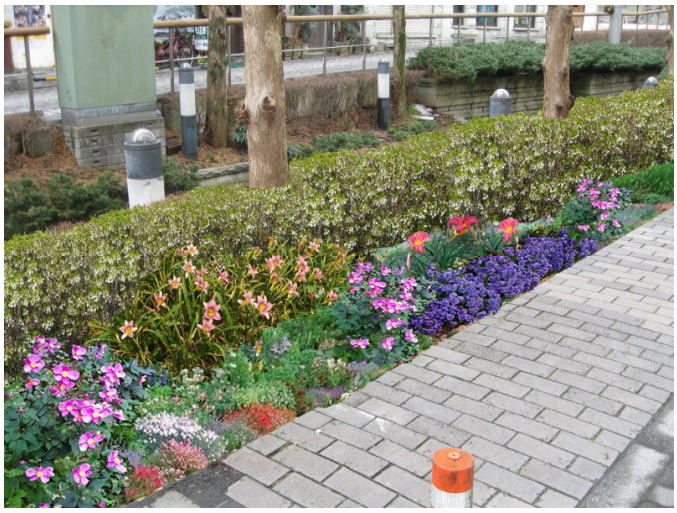
・北側の歩道に沿ってドウダンツツジの生け垣が続いているが，年数とともに，歩道とドウダンの間に隙間が生じており，アスファルトの滲み出しも見られる。この隙間を花壇として整備し，新橋から修道橋にかけて，歩道に沿った四季の花壇を完成させる。　日当たりを好む，明るい宿根草の花の植栽を進める。

シュウメイギク（宿根草）　9～11 月
湿り気の多い、日当たりのよい土を好む。

ヘメロカリス（宿根草）　6～8 月
日当たりのよい場所。土性は選ばない。

ビフォー

アフター



ロマンチックドームの四季（植栽イメージ）

春

春　キングサリ・フジ 4～5 月

キングサリはフジに似た花が咲く大変美しい花木。ヨーロッパではたいへんにポピュラーな花木。

夏

ペチュニア

ダリア

ジキタリス

アガパンサス

秋

コリウス

マリーゴールド

ブルーサルビア

冬

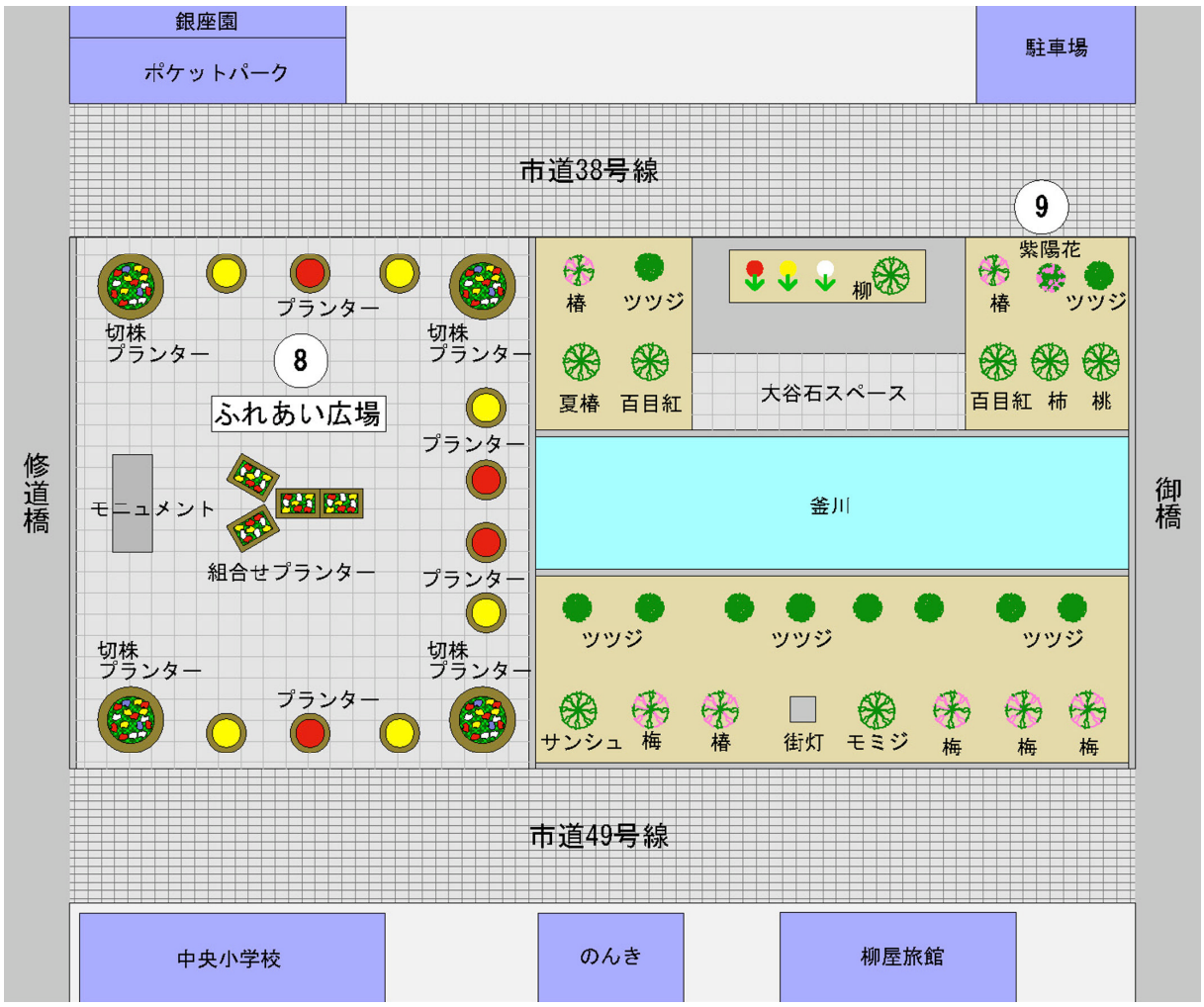
クリスマスローズ

パンジー

ビオラ

ダスティミラー

第３ゾーン（その２）【修道橋～御橋】現況



・ふれあい広場は，約 20 年前の整備以来，年に数回のイベント以外は回りをチェーンで囲んで中に入れないようにしてあった。

・平成 22 年 11 月，ここに大小のプランター約 50 基を設置し，これを機に，チェーンを外していつでも人が入れるように開放した。
また，広場の中に大型の木製のベンチとテーブルを設置し，休憩しながら花を眺められる環境も整備した。
春，夏，秋と，季節毎に，プランターの花の植え替えを実施している。

・ふれあい広場の東側には，かつて大きな３本の柳が植わっていたが，２本は枯れて引き抜いたため，その跡地を花壇として整備した。

⑧　ふれあい広場

ふれあい広場
（木製ベンチとテーブル）

御橋の西側
（以前柳が植えられていた区間）

⑨　御橋の西側部分

第３ゾーン（その２）植栽イメージ

・この区間は，広く市民に開かれたオープンスペースとして，ふれあい広場の整備，活用を進め，多くの市民や来街者が集う「釜川プロムナードの賑わいの核」としていくエリアである。
・ふれあい広場は，大小のプランターを全体に配置して，四季折々の花が咲き誇る「市民の憩いの場」「中心市街地のオアシス」としていく。
　また，移動可能なベンチやテーブルなども順次設置を図り，散策の合間に休憩しながら花を眺められる環境づくりを進める。
・南側の梅やモミジ，百日紅などは，時とともに大木になって繁茂し過ぎているものがあるので，剪定や間引きを進める。

ふれあい広場のイメージ

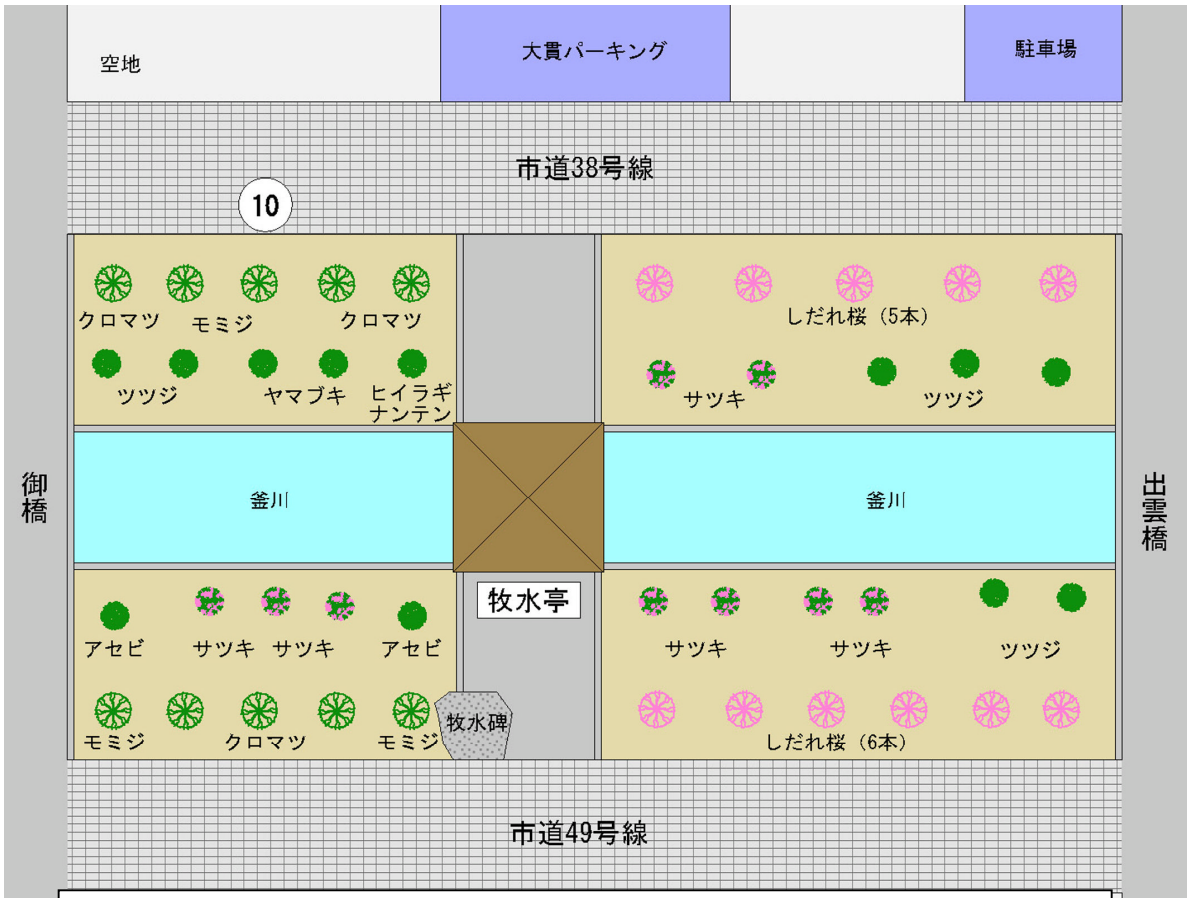
⑨御橋の西側部分

・御橋は，二荒山神社から城址公園に至る通りの目印であり，釜川プロムナードへの入り口にもなる重要な拠点である。
　このため，御橋西側の空き地の部分には，釜川に人を呼び込むきっかけとなるような植栽を進める。

シモツケ　4～5 月
バラ科の低潅木植物。
名前は，下野国に多く見られることなどに由来

『イメージ』

第４ゾーン（その１）【御橋～出雲橋】現況



・御橋から牧水亭にかけては，クロマツが多く植えられており，和風庭園風に造られている。

・牧水亭から出雲橋にかけては，毎年 4 月に華麗な枝垂れ桜が川面を彩り，多くの花見客の目を楽しませている。特に，夜間は，ほの明るいライトに照らし出された桜が川面に浮かび上がり，春の宵の幻想的な美しさを醸し出している。

出雲橋から牧水亭を眺める

牧水亭から枝垂れ桜を眺める

第４ゾーン（その１）植栽イメージ

・牧水亭に座りながら枝垂れ桜を眺められるようにするため，それまであった腰板を外すとともに，木製のベンチを設置した。
釜川の川面を覆う枝垂れ桜を眺められる「宇都宮の新たな桜の名所」としていく。
・御橋から続く北側の歩道に沿った部分は，第３ゾーンからの連続性も考えながら，効果的な植栽を進める。

⑩　御橋の東側部分

・御橋から出雲橋にかけて，北側の市道に沿った部分がはげて荒地になっているため，低木や草花の植栽を進める。
・提案植物；シラン，ヤブラン，コグマザサなど

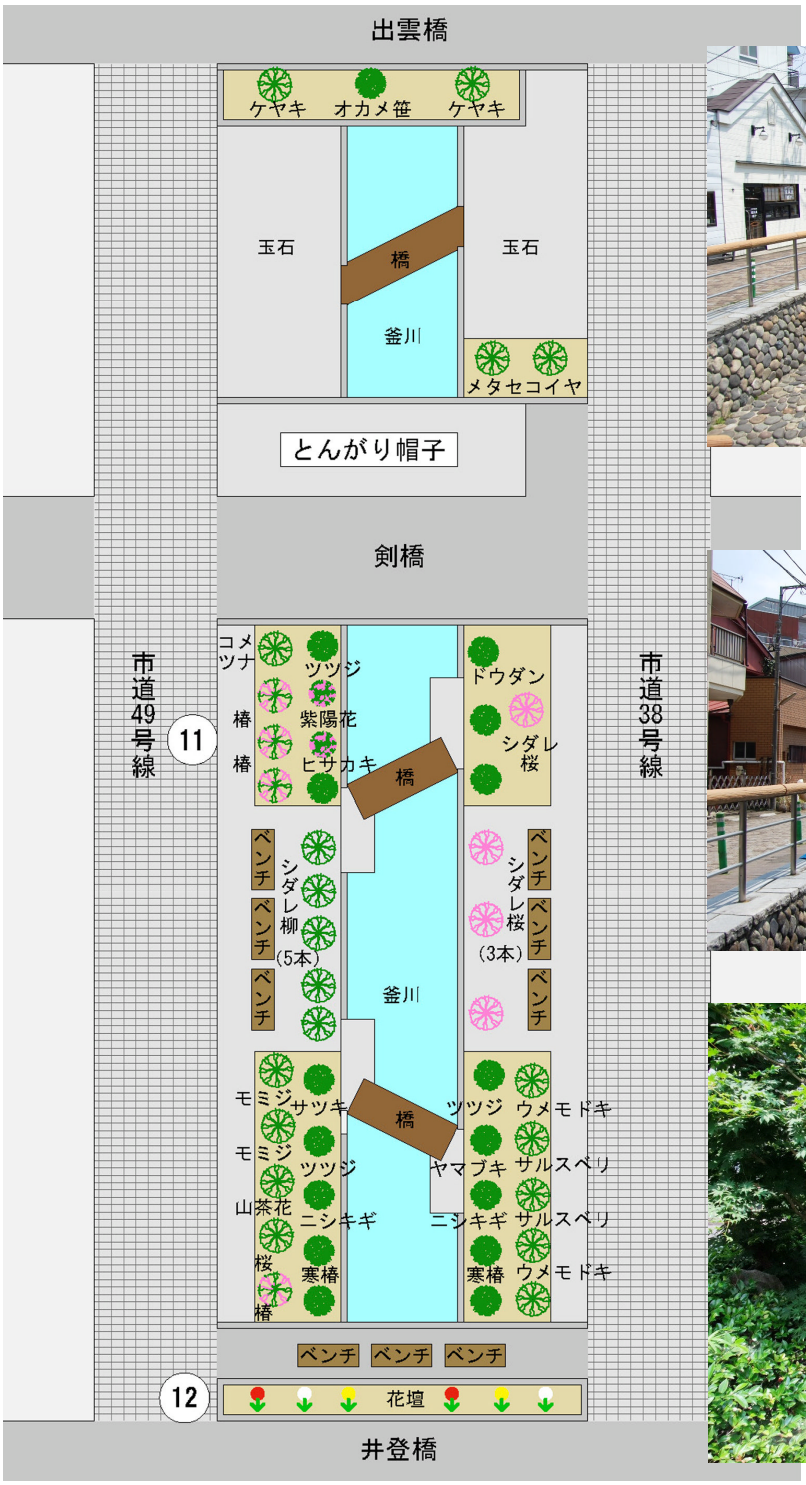
シラン（宿根草）　5～6 月
・紫紅色のきれいな花をひとつの花茎に数輪咲かせる。
・紫紅色が一般的だが、白花などもある。

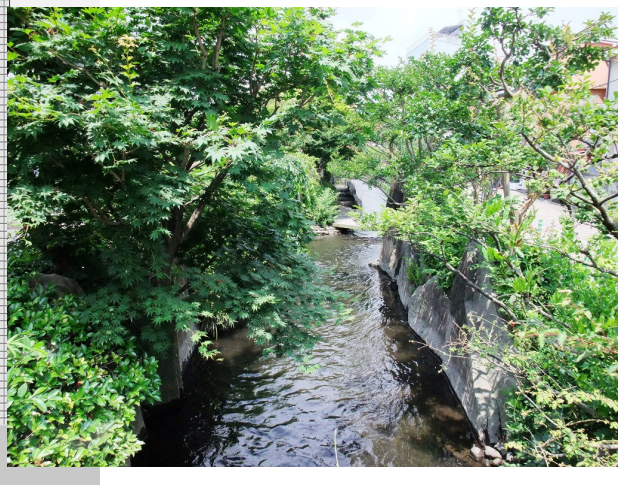
ヤブラン（常緑宿根草）　9～11 月
・紫色の小さな花が穂状に付く。かなりの日陰を好む。
・花がない時にも観葉植物として観賞できる。

ビフォー

アフター

第４ゾーン（その２）【出雲橋～井登橋】現況





・出雲橋から剣橋（とんがり帽子）にかけては，川面に直接下りて，川に触れられるように，玉石を敷きつめてある。

・剣橋から井登橋にかけては，東側に枝垂れ桜，西側に大きな柳が植えられている。釜川プロムナードの中でも，最も釜川の風情を味わえる，特徴ある親水空間となっている。

第４ゾーン（その２）植栽イメージ

・この区間には，水辺に 3 本の木の橋が架けられているなど，川に親しむ工夫がされており，とんがり帽子やじゃぶじゃぶ池の景観とも相まって，中心市街地の貴重な親水空間となっている。
また，桜と柳が川面に映えて，独特の風情を醸し出しており，釜川の魅力あるスポットとして，環境整備や PR に努めていく。
・枝垂れ桜が，第 4 ゾーンの最大の特徴でセールスポイントであることから，可能な限り「雨情枝垂れ桜」の植栽を進め，連続した「枝垂れ桜の路」（歌人の小路）としていく。

雨情枝垂れ桜　　４月

・江戸彼岸の栽培品種で、宇都宮市にて詩人の野口雨情の屋敷に植えられていたため、雨情枝垂れと名づけられた。
・中輪・八重の淡紅色の花は八重紅枝垂れよりも大きな花が全開し、満開になると花の中心部まで見える。
樹高は 4m前後とあまり大きくならない品種。

⑪　剣橋（とんがり帽子）の南側部分

ビフォー

アフター

第４ゾーン（その３）【井登橋～今小路橋】現況

・井登橋から今小路橋にかけて，釜川に沿ってリバーサイドテラスが続いている。川面にせり出すようにベンチが設置してあり，まちなかの格好の休憩場所となっている。

リバーテラス